

ピリミジヌクレオシドホスホリラーゼ、組換え

Cat. No. NATE-0646

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ピリミジヌクレオシドホスホリラーゼ (PyNPase) は、ピリミジヌクレオシドとリン酸をピリミジン塩基と α -D-リボース 1-リン酸に交換する反応を触媒するグリコシルトランスフェラーゼです。PyNPase は、乳がんの血管新生において重要な役割を果たします。

用途 ピリミジヌクレオシドホスホリラーゼ (PyNPase) は、特にリンパ節転移における乳がんの転移能力を予測するためのマーカーとして使用される可能性があります。PyNPase は乳がんを研究するために使用され、特に血管新生におけるその役割を調べます。

別名 ピリミジヌクレオシドホスホリラーゼ; EC 2.4.2.2; Py-NPase; 9055-35-0; pdp (遺伝子名); PyNPase

製品情報

由来 E. coli

EC 番号 EC 2.4.2.2

CAS 登録番号 9055-35-0

活性 > 1300 U/mL

単位定義 1 ユニットは、pH 7.4 および 25°C で、チミジンとリン酸の各 1 μ モルをチミンと 2-デオキシリボース 1-リン酸に交換します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C